

## 港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表: 飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX:06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール: [yamaemi@bridge.ocn.ne.jp](mailto:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp)

毎月15日にホームページで発行 <冊子価格: 税込300円>

**働く仲間の相談所**

倒産、解雇、**無料**  
賃金不払い、  
条件切下げ  
など何でも

困ってませんか?

港合同 (南市岡3-6-26) ☎6583-4858

**パソコントラブルレスキュー**

パソコンに関するのなら、すべておまかせください。

✓ 矢野システム研究所

- ▶ パソコンが立ちあがらない
- ▶ データを消してしまったり、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国製のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

**被災地農民を支援します。**  
**反原発の声をあげよう!**

ご協力下さる方はご連絡下さい

**三里塚産直野菜の会**

磯路2-3-9(三社神社そば) TEL.6572-0130

大好評受付中!

**出前さんぱつ**

月曜日にご自宅(外出困難な港区内の方)や施設まで出張

カット2,000円+出張費1,000円(施設など2人以上なら無料)

ご来店料金は2,500円より

磯路2-1-21 床屋カンパニー ☎6577-5225

## ゆうやけ

★師走の職安前。「生活できる仕事がほしい!」との叫び(1頁)は折からの寒風にも煽られて心身にこたえました。20代~40代の体力盛り・働き盛りの顔に「夢」や「希望」の輝きはなく、代わりに「諦め」と「焦り」の皺が刻まれていました。『♪どうにかなるさ』『♪のんびりゆこう』の歌がはやり、日本中どこへ流れても何らかの仕事があった筆者の青春期とは隔世の現実。彼らと声を合わせ、「一体何のために政治はあるんや!」「責任者出て来い!」と叫びたくなった取材でした。

★うっとうしい雨を吹き飛ばして敢行された「池島ふれあいまつり」(18頁)と「ごちそうマ

ラソン」(20頁)。不況の中での港区民の不屈の心意気が集約されているように感じました。そのルーツは終戦直後の焼け野が原と度重なる水害から立ち上がった今の高齢者。その年季がこもった「港区老人福祉センター作品展」(36頁)も忘れんと読んで下さいね。

★「真っ先に読みます」「ずっと続けて」と好評の新旧シリーズ、「故郷の話をしよう」(39頁)と「戦争体験語り継ごう」(44頁)が今号でひと区切りになりました。片や慌ただしい都会生活でひとときの時空間旅行を味わってもらうため、片や二度と悲惨な体験を繰り返さないため、我こそは!の語り部を求めます。